

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-04-01-03
事務事業名	交通安全施設整備事務		根拠法令・要綱等
事業開始年度	平成17年～		問合せ先
大項目	基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	担当課(室)
中項目	基本施策	安全で安心して暮らせるまちづくり	職・氏名
小項目	施策	交通安全意識の高揚	電話
			0869-64-1876

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	信号機、規制標識等の設置を要望する人
目的(何のために)	公安委員会及び警察署へ信号機、規制標識等の設置要望のため
行政活動(どのような方法で)	公安委員会及び警察署へ信号機、規制標識等の設置要望書を提出する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	信号機、規制標識等の設置

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
要望書提出件数(一時停止)	件	6	0	0
要望書提出件数(信号機改良)	件	4	2	0
要望書提出件数(横断歩道)	件	1	0	2
要望書提出件数(規制強化)	件	5	1	1
地区からの要望件数	件	16	3	3
活動実績				
直接事業費	千円	0	0	0
人件費	千円	2,330	1,088	213
事業費計	千円	2,330	1,088	213
財源				
国県支出金	千円			
受益者負担	千円			
市一般財源	千円	2,330	1,088	213
必要人員	人	0.26	0.13	0.03
結果指標名				
要望書提出件数	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
結果指標量	説明	16	3	3
対前年比	%	-	18.8%	100.0%
活動コスト	円	2,330,000	1,088,000	213,000
単位当たりコスト	円	146,625	362,667	71,000
結果指標				
結果指標量	説明			
対前年比	%			
活動コスト	円			
単位当たりコスト	円			

事業の成果			
成果指標名	設置要望書提出率	式又は説明	(地区の要望件数 / 要望書提出件数) × 100
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	100.00	100.00	100.00
対前年比		100.00%	100.00%
到達目標値	100.00	到達目標年度	要望については年度内で対応する。

事業の目的、対象、内容を考えてから目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	B
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	交通規制に関しては、市で実施できないため、地区住民と市の共通認識の上、要望する必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	事業の意図する成果	現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	市の関与	本市が関与しなければならない事業である
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	効率性評価<A-E>	B
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい		
手	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難	事業費は、人件費のみであり、効率化を図ることは困難である。	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
職	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	目的達成度	成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである
	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
場	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	成果向上の可能性	今後、成果指標は向上する余地がある
	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている	市民参画度	事業実施等で積極的に市民意見を反映している
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
有効性の評価		地区からの要望については、市としても交通事故の防止のため、積極的に要望書を提出する。	

平成20年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	地区からの要望を受け、現地確認・関係部署との連絡調整を行い、警察署へ要望書を作成し提出する。
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量	5
結果指標量	結果指標量	100.00

総合評価		評価区分<A-E>	B
要望については、必要性を十分協議・検討した上で、提出するよう努める。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果